

研究名「中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者におけるフィルゴチニブの有効性と安全性に関する後ろ向きコホート研究」

背景

近年潰瘍性大腸炎に対する治療の選択肢は多くなっていますが、臨床試験以外にも実際に使用された患者さんの経過について検討することは重要と考えます。2022年3月から新たな潰瘍性大腸炎治療薬であるフィルゴチニブが使用可能となりましたが、この薬剤に関して実際に使用されている患者様の経過について検討することは難治性の潰瘍性大腸炎の治療法の選択・確立のために重要と考えます。

目的

私達の施設でも2022年4月からフィルゴチニブが用いられるようになりましたが、その効果、安全性について検討することを目的とします。

方法

当院で2022年4月1日から2024年9月30日の間にフィルゴチニブを処方された潰瘍性大腸炎の患者さんが対象となります。

方法は過去に当院で潰瘍性大腸炎の治療を受けられた患者さんの診療録を過去にさかのぼって調査し、状態や治療経過を検討致します。

実施にあたり東北労災病院の倫理委員会の審査を受け、適切な研究であると承認されています。

対象となった患者さん全体の情報は検討に用いますが、個別の情報は検討に用いません。また個別の臨床経過についても調査しません。

診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら遠慮なく消化器内科医師にご連絡ください。

(問い合わせの窓口)

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-2 1

電話：022-275-1111

担当者氏名：白木 学